



通信

電話048-480-4150

2018年1月31日発行

～初句集3月に～

あつかんは
ゆげの湯どうふ
つまみつつ

93才
伴三

雪合戦
雪だまにぎって
ぶつけ合い

77才
百合子

日々過ぎし
感じるものは
春の音

69才
俊明

初夢を
忘れてなんと
句の席よ

96才
信子

H27年2月からデイホームえんに通われている96歳の小幡さんは、ほぼ聴力がありません。その小幡さんが通い始めたころ、えんの庭を見て、目を閉じ、おもむろに一句書かれました。そのことをきっかけに、翌年から毎週第2月曜日の午前中、ボランティアの中曾根さん(句作が趣味)、認知症ケアの大ベテラン阿保さん(元デイホームえんスタッフ)に手伝っていただきながら、デイホームえん、グループホームえんの利用者さんで句会を開くようになりました。始めてから丸2年、この3月には句集をだすことに。利用者さんの作られたたくさんの俳句を楽しみにしていきましょう！